

# 世界が 懸念していること

2023年7月



GAME CHANGERS



# 世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査は、世界29カ国でいま最も重要な社会的・政治的問題に関する世論を追跡し、10年以上にわたるデータをもとに最新のスコアの背景を考察するものです。

この**グローバルサマリーレポート**では、世界中で最も懸念されていることを、自国の物事が正しい方向と間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意識と共に紹介しています。

各国および各問題の調査結果の内訳は、[www.ipsos.com](http://www.ipsos.com)でもご覧いただけます。

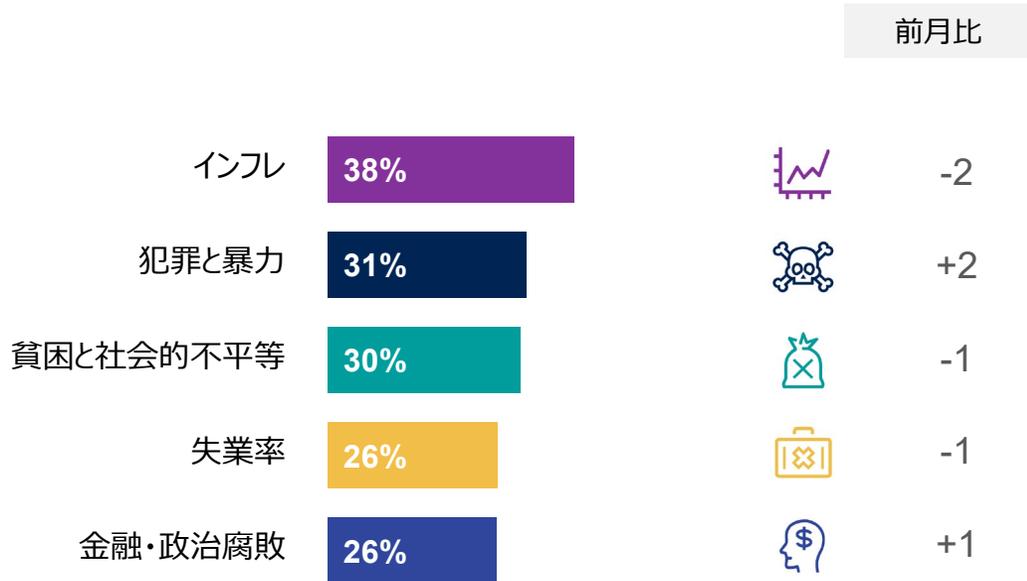
詳細は、[Teodros.Gebrekal@Ipsos.com](mailto:Teodros.Gebrekal@Ipsos.com) までお問い合わせください。



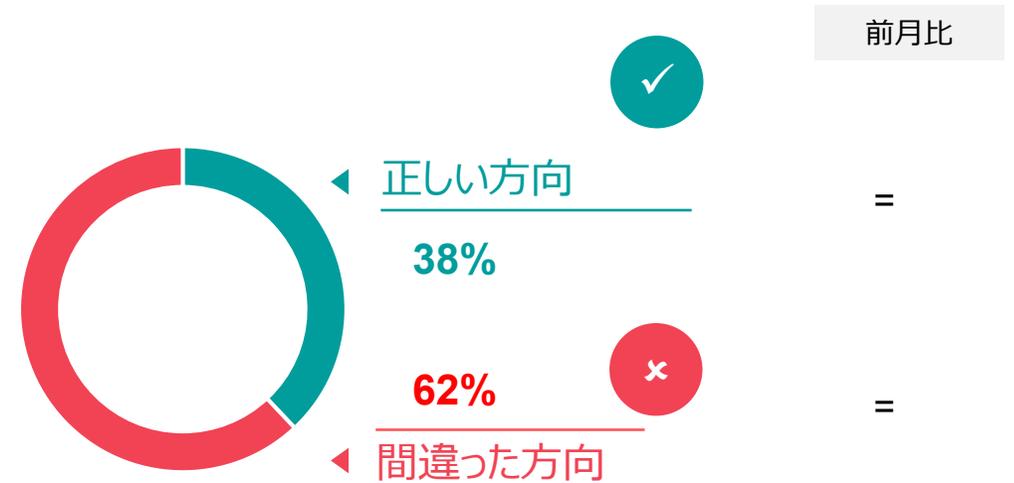
# 世界が懸念していること 2023年7月

インフレは16カ月連続で最大の懸念事項ですが、今月もスコアが下がり(2ポイント減)、今年の最低スコアとなっています。これは2022年6月以来最も低い水準です。犯罪と暴力への懸念は2ポイント増(31%)で、順位を一つ上げています。一方、貧困と社会的不平等、失業率は1ポイントずつ減少しました。正しい方向／間違った方向の割合は今月も変わりません。

**Q** 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください



**Q** 一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか



ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,750人。2023年6月23日～2023年7月7日調査。  
出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

3 © Ipsos | What Worries the World

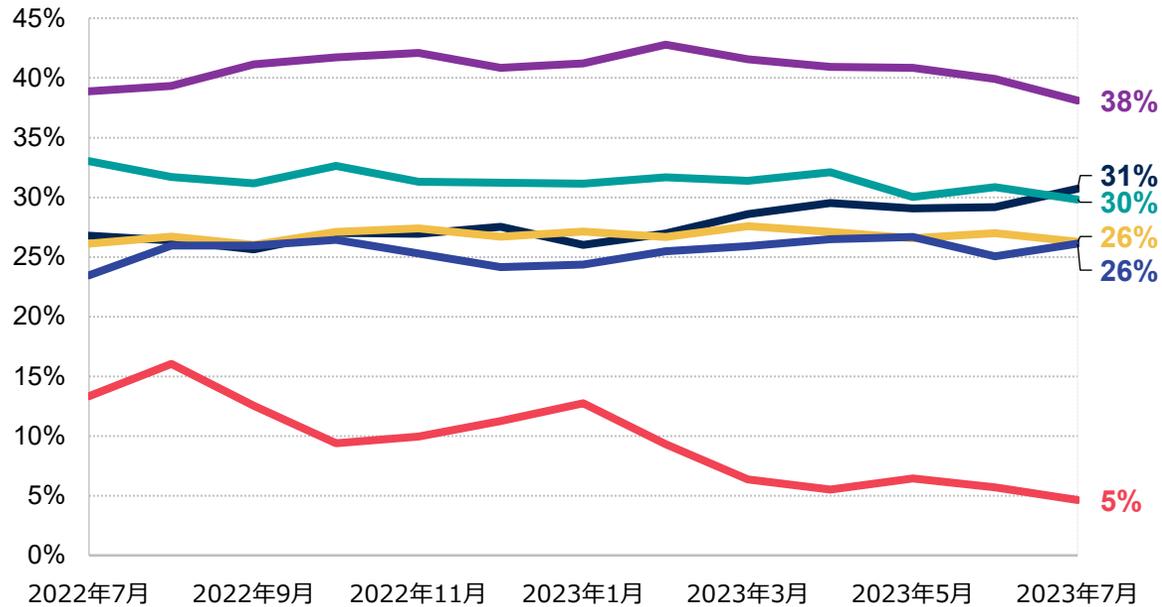
フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 世界が懸念していること 12カ月のトレンド

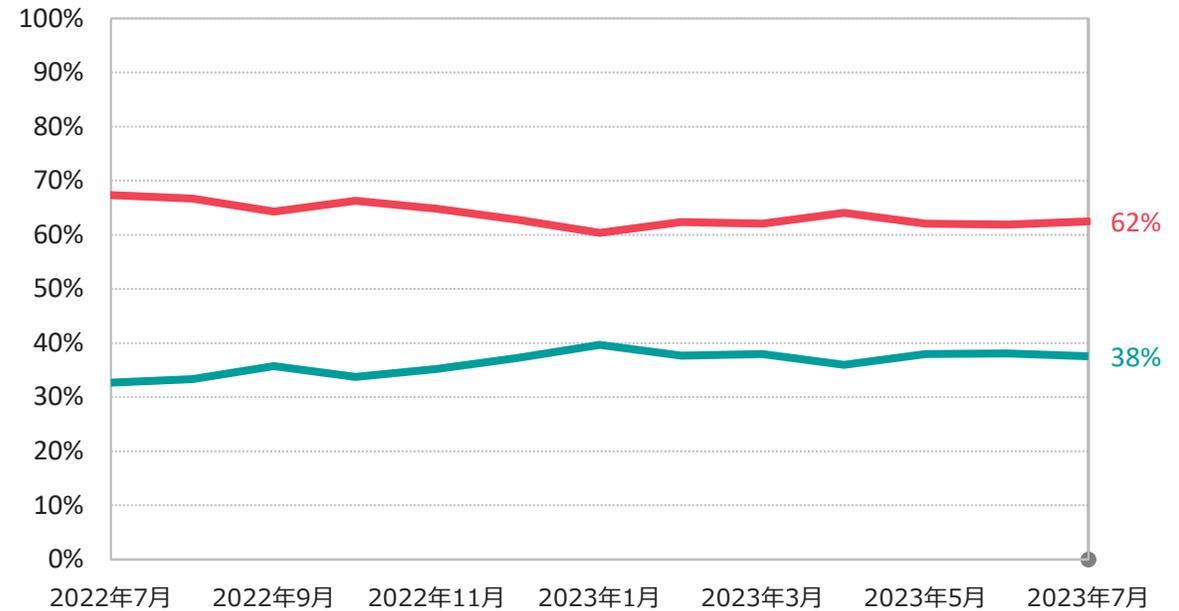
Q

以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思うものを3つ選んでください



Q

一般的に言って、この国の物事は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか



■ 正しい方向性 ■ 間違った方向

ベース：2022年7月～2023年7月、参加29カ国の16～74歳の成人約25,750人の代表サンプル。  
 出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

4 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日

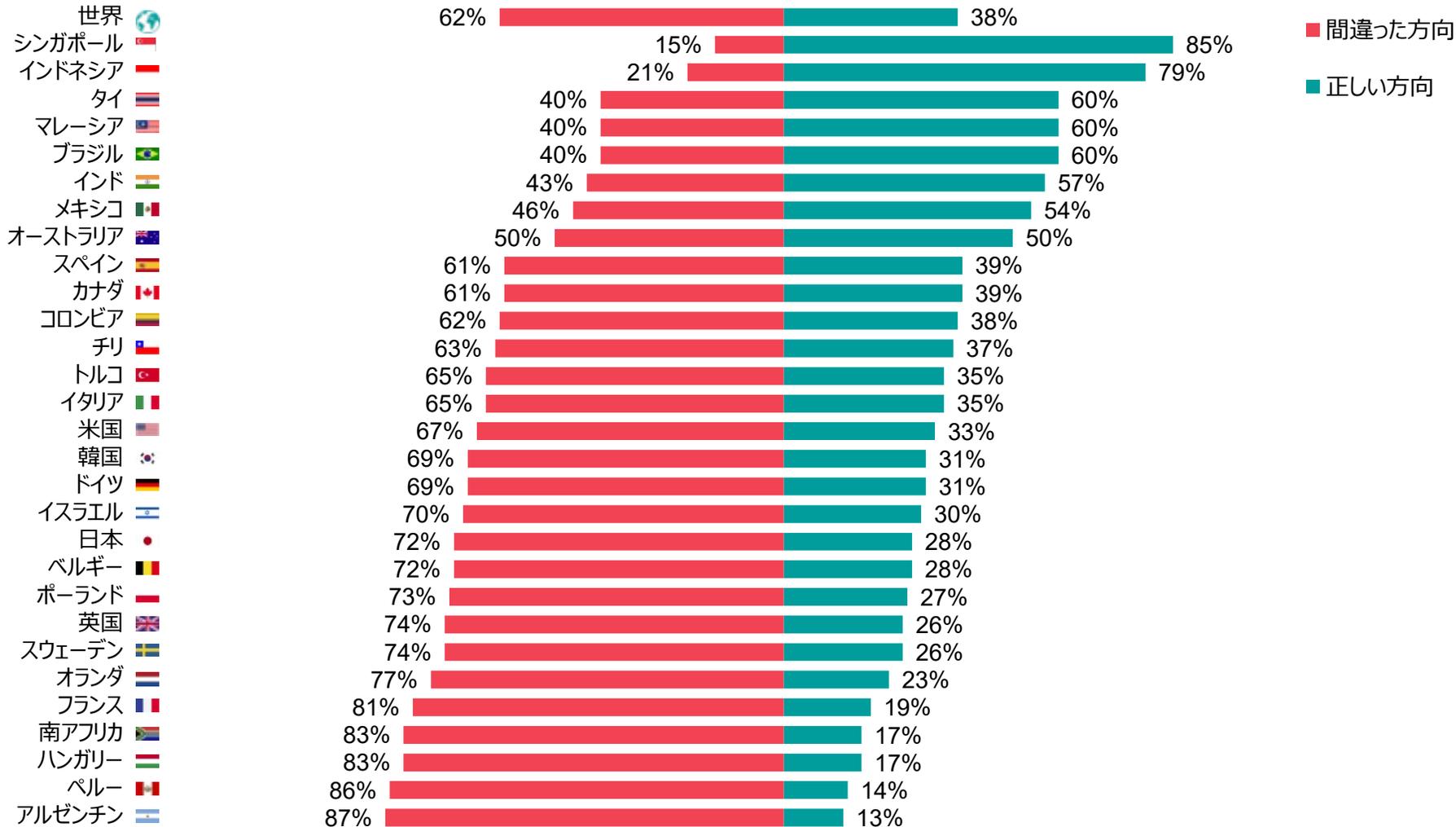


# 進んでいる方向 全29カ国



# 正しい方向 vs. 間違った方向 追跡モニター

Q この国の物事は正しい方向に向かっていけるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか（2023年7月）



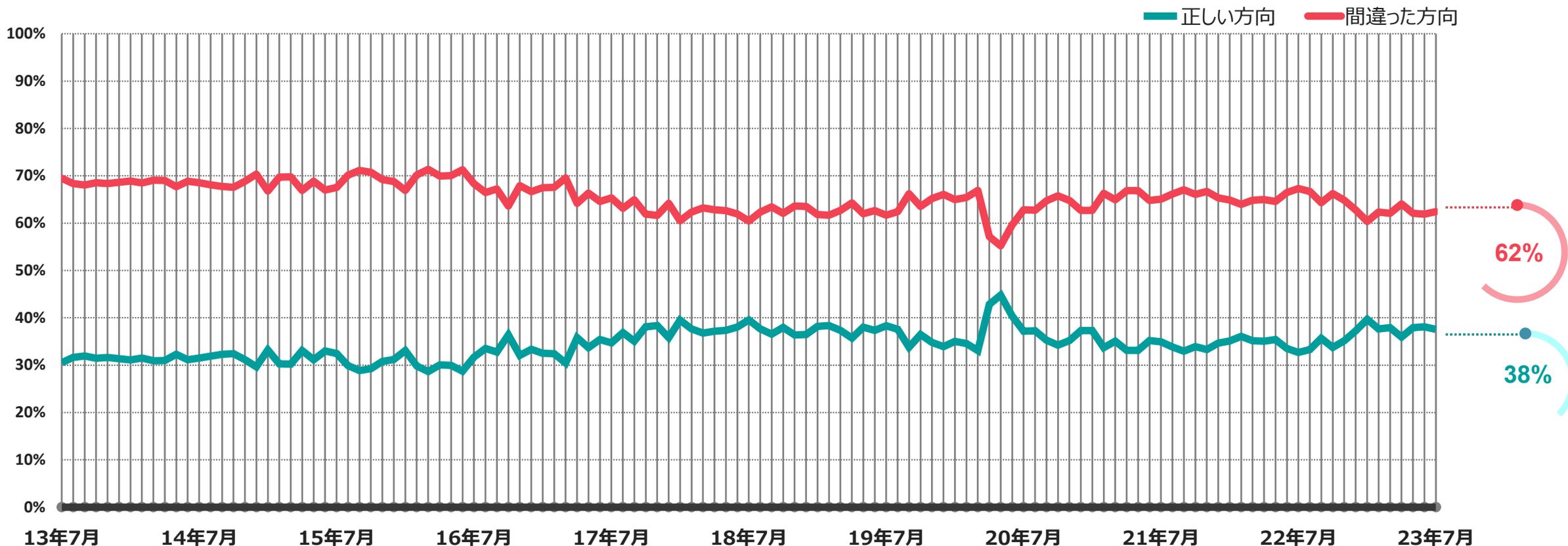
世界のおよそ10人に4人(38%)が、自国は正しい方向に進んでいると考えています。自国が間違った方向に進んでいると考えている人は62%で、先月と変わりません。

アジア太平洋諸国は依然として最も楽観的ですが、上位には多少の動きがありました。シンガポール(85%)は8ポイント増えて1位になりました。一方、インドネシア(79%)は4ポイント減少、マレーシア(60%)とタイ(60%)はともに7%減少しました。

ヨーロッパの一部の国々は厳しい状況にあるようです。例えば、イギリス(26%)の「正しい方向」は6ポイントの減少、フランス(19%)は8ポイント減少しています。オランダ(23%)、スウェーデン(26%)、ハンガリー(17%)、ベルギー(28%)はいずれも4ポイント減少しています。

# 世界：正しい方向／間違った方向

**Q** この国の物事は正しい方向に向かっていると言えるでしょうか、それとも間違った方向に進んでいると言えるでしょうか（世界各国平均スコア）



ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,750人。2023年6月23日～2023年7月7日調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



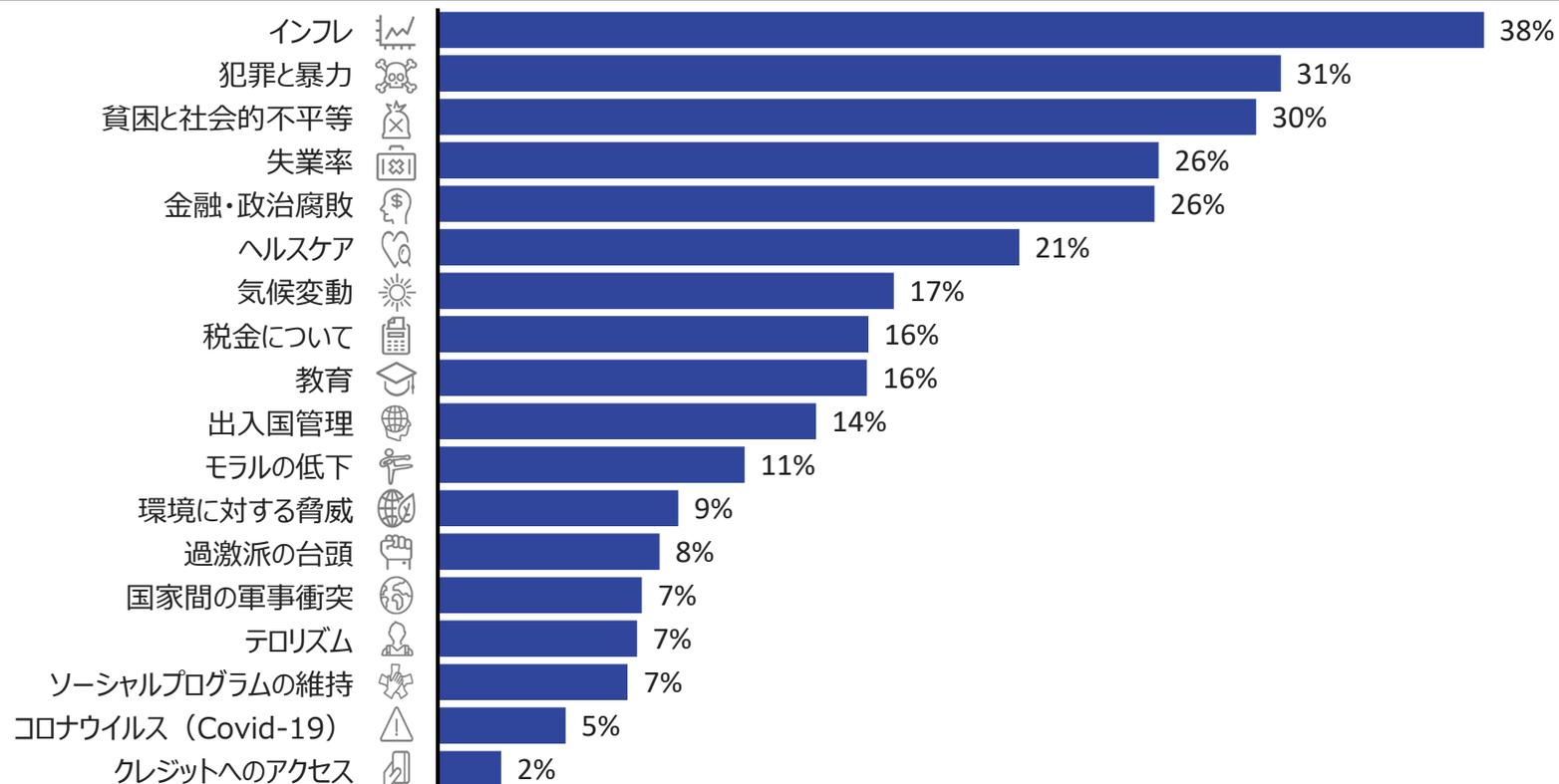
# 世界が懸念していること ランキング上位の懸念



# 世界の懸念事項：全18項目

**Q** 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思えるものを3つ選んでください

2023年7月の回答（世界各国平均）



インフレは6月に1ポイント低下し、今月は2ポイント低下しました。今月の38%は今年最低で、2022年6月以来の低水準となっています。

反対に、犯罪と暴力は2ポイント増え、世界の3分の1近くが懸念しています(31%)。

貧困と社会的不平等(30%)は1ポイント減り3位になりました。失業率(26%)も1ポイント減少しています。

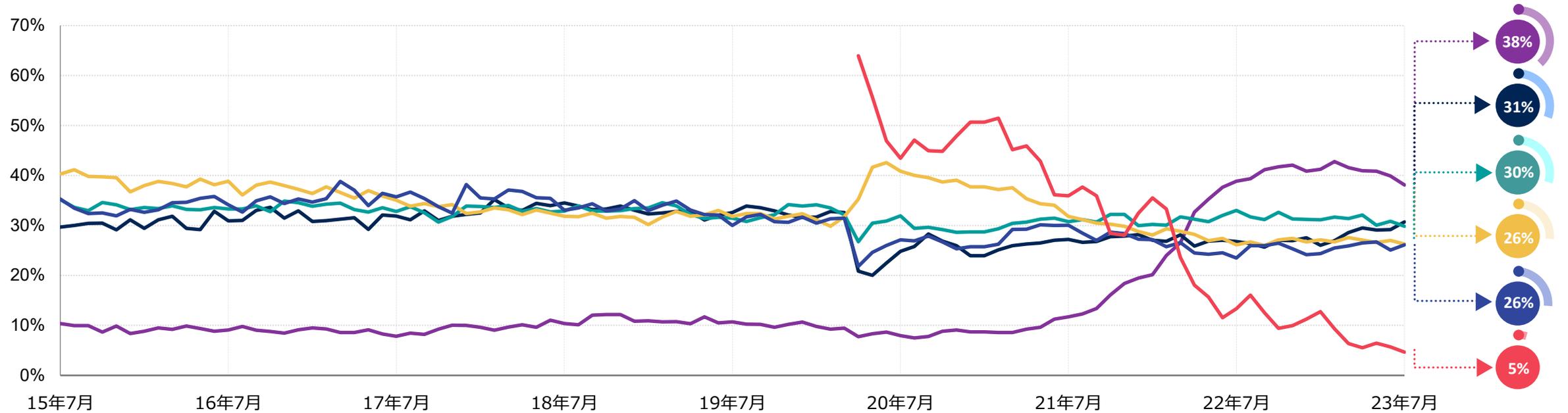
一方、金融・政治腐敗は1ポイント増えて4分の1強となっています(26%)。

コロナウイルスは今月1ポイント減少しましたが、引き続き17位となっています。

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,750人。2023年6月23日～2023年7月7日調査。  
出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 世界の懸念事項：長期トレンド

**Q** 以下のトピックのうち、あなたの国で最も心配だと思つたものを3つ選んでください



インフレ



犯罪と暴力



貧困と社会的不平等



失業率



金融・政治腐敗

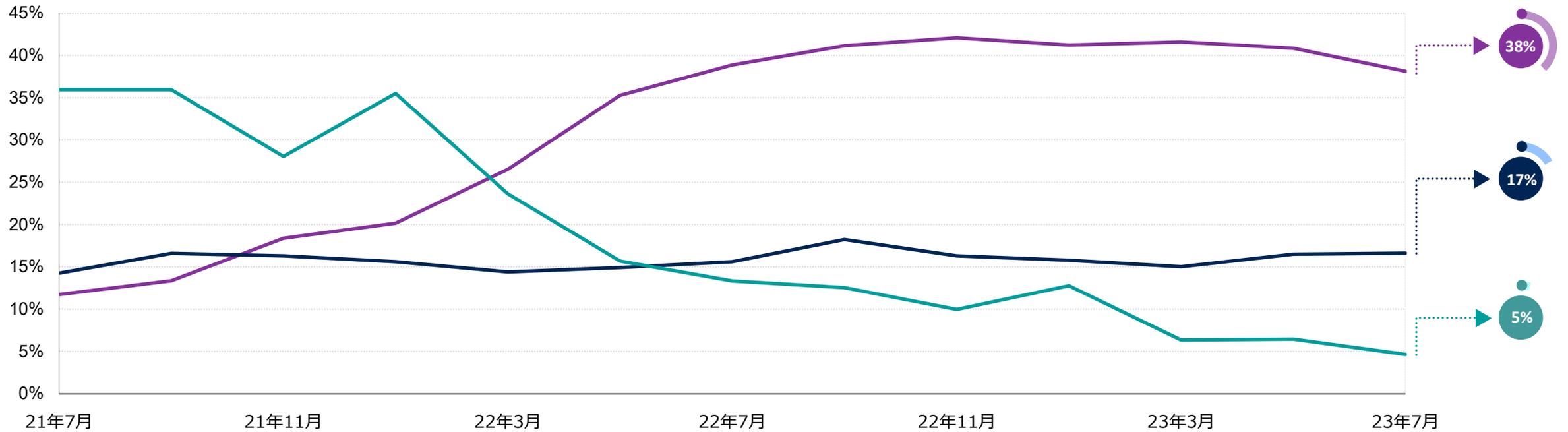


コロナウイルス

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,750人。2023年6月23日～2023年7月7日調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

# 世界の懸念事項：長期トレンド（インフレ、気候変動、コロナウイルス）



インフレ

気候変動

コロナウイルス

ベース：参加29カ国の16～74歳の代表サンプル、25,750人。2023年6月23日～2023年7月7日調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

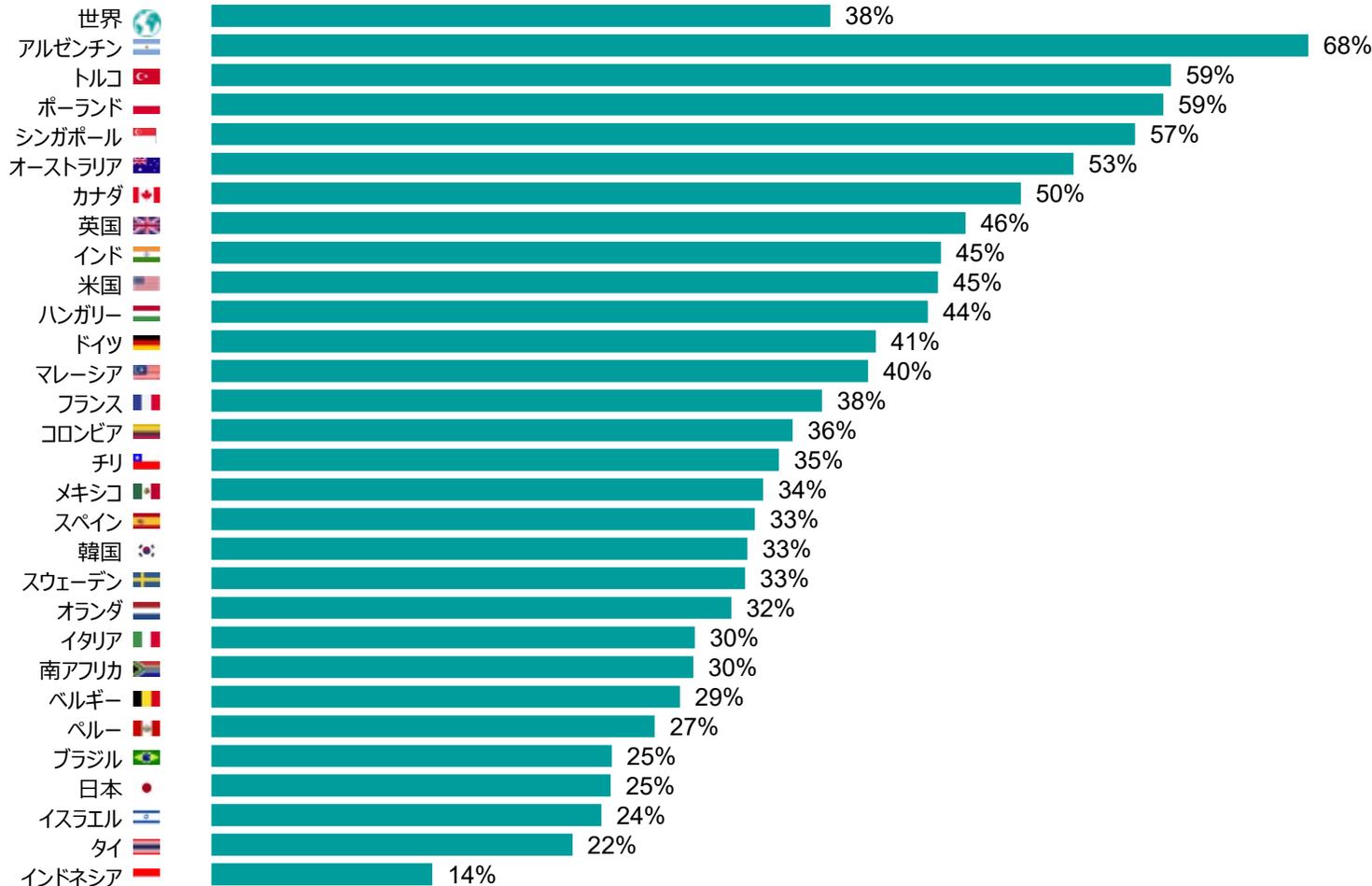
出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。「コロナウイルス」は2020年4月から採用。

11 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 1 | インフレ



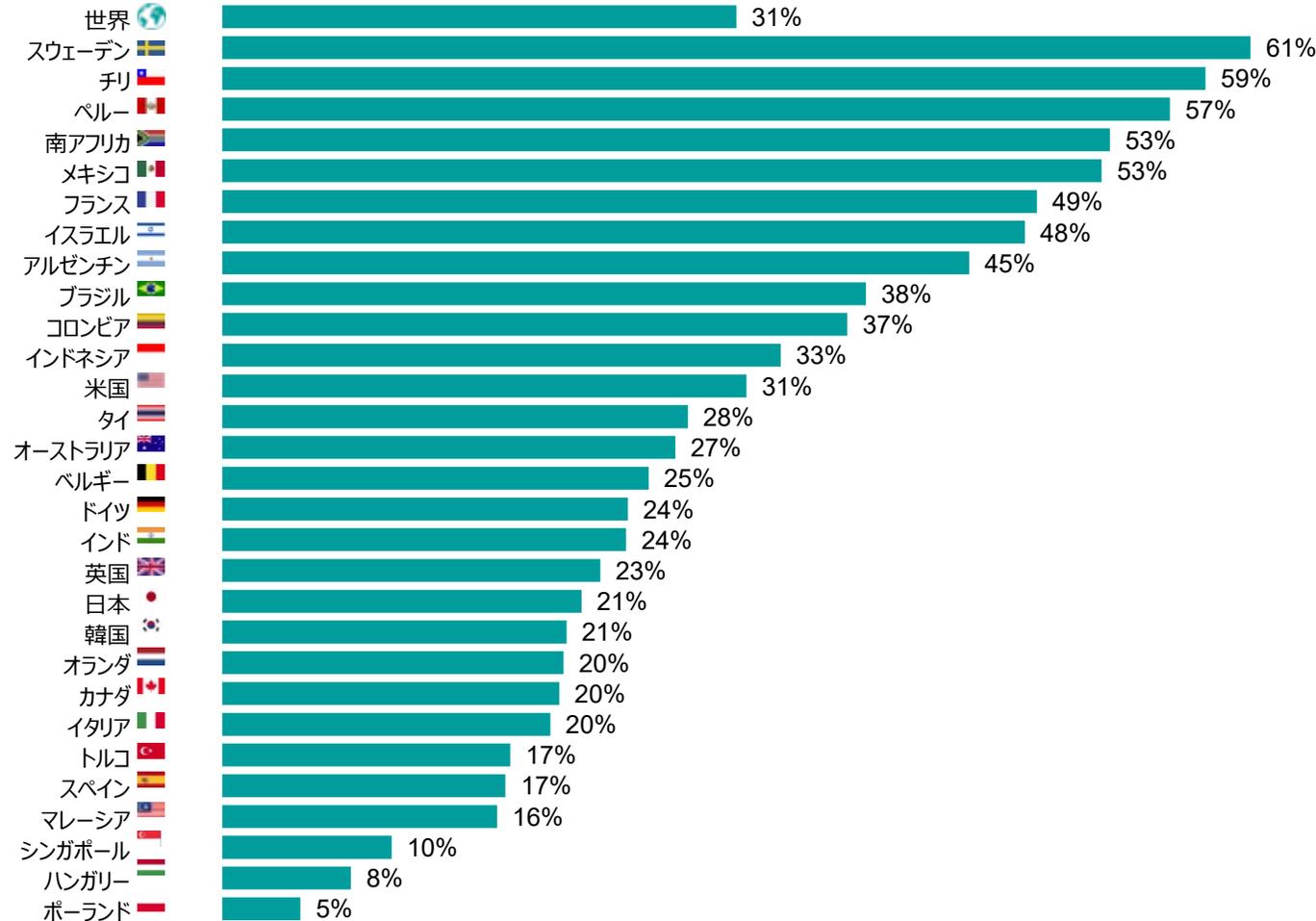
現在、世界のおよそ5分の2(38%)がインフレを最大の懸念のひとつと回答しています。6月から2ポイント減って今年の最低水準になり、2022年6月以来の最低スコアになりました。2023年2月が最も高く、43%でした。

アルゼンチン(68%)はインフレを最も懸念している国ですが、徐々に落ち着いてきています。インフレ懸念は先月からは3ポイント減少し、最高記録を更新した5月の水準からは8ポイント減少しています。

そのほかの懸念が高い国でも同様に減少しており、ポーランド(59%)は6ポイント減、ハンガリー(44%)は7ポイント減でした。

今月は10カ国(アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、ドイツ、英国、インド、ポーランド、シンガポール、トルコ、米国)でインフレが最大の懸念事項になっており、先月からは1カ国少なくなっています。

## 2 | 犯罪と暴力



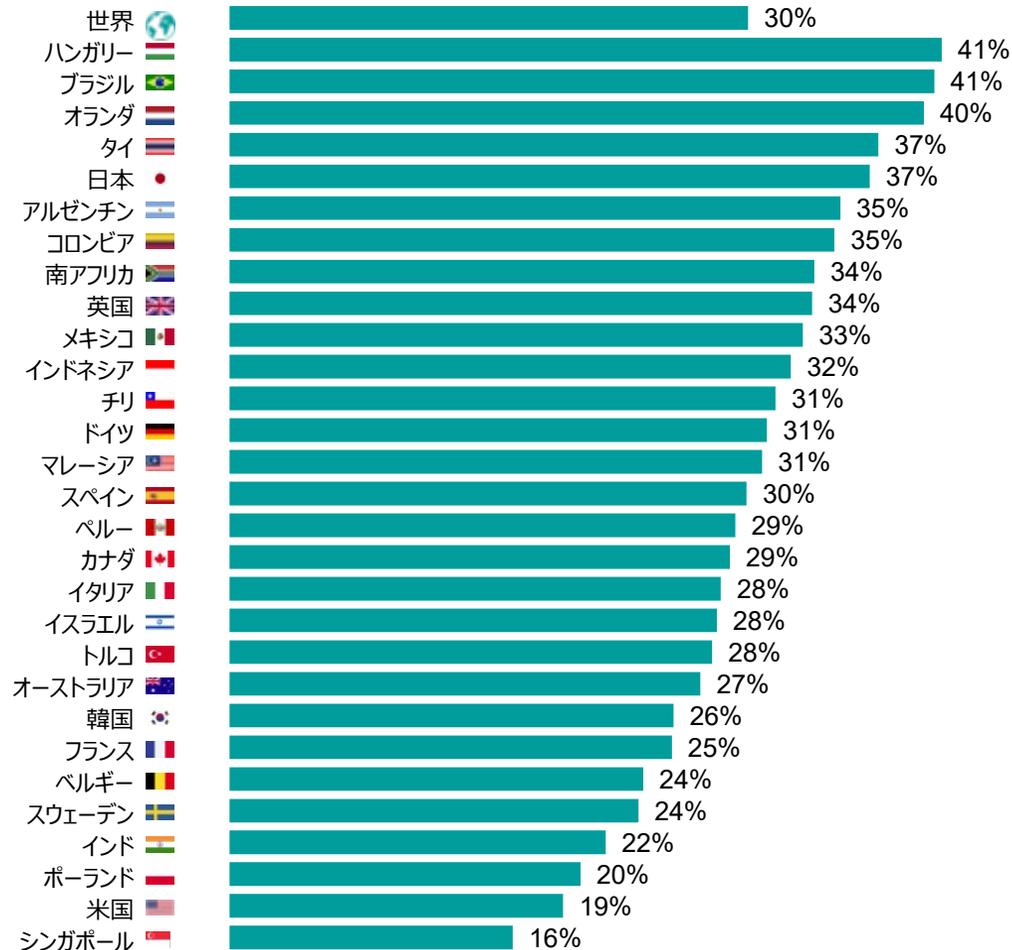
世界のおよそ3分の1(31%)が、犯罪と暴力を最大の懸念と回答しています。6月から2ポイント増え、懸念事項として2番目に多くなりました。

暴動が発生したフランスでは先月から21ポイント増えてほぼ半数(49%)にまで増えていきます。この問題がフランスにとって最大の懸念になったのは、2021年6月以来初めてのことです。

そのほかに犯罪と暴力が最大の懸念になっているのは、スウェーデン(61%)、チリ(59%)、ペルー(57%)、メキシコ(53%)、イスラエル(48%)の5カ国です。

オランダでは先月、4分の1強がこの問題を懸念していました。しかし、今月は6%減って20%となり、順位を下げました。

### 3 | 貧困と社会的不平等



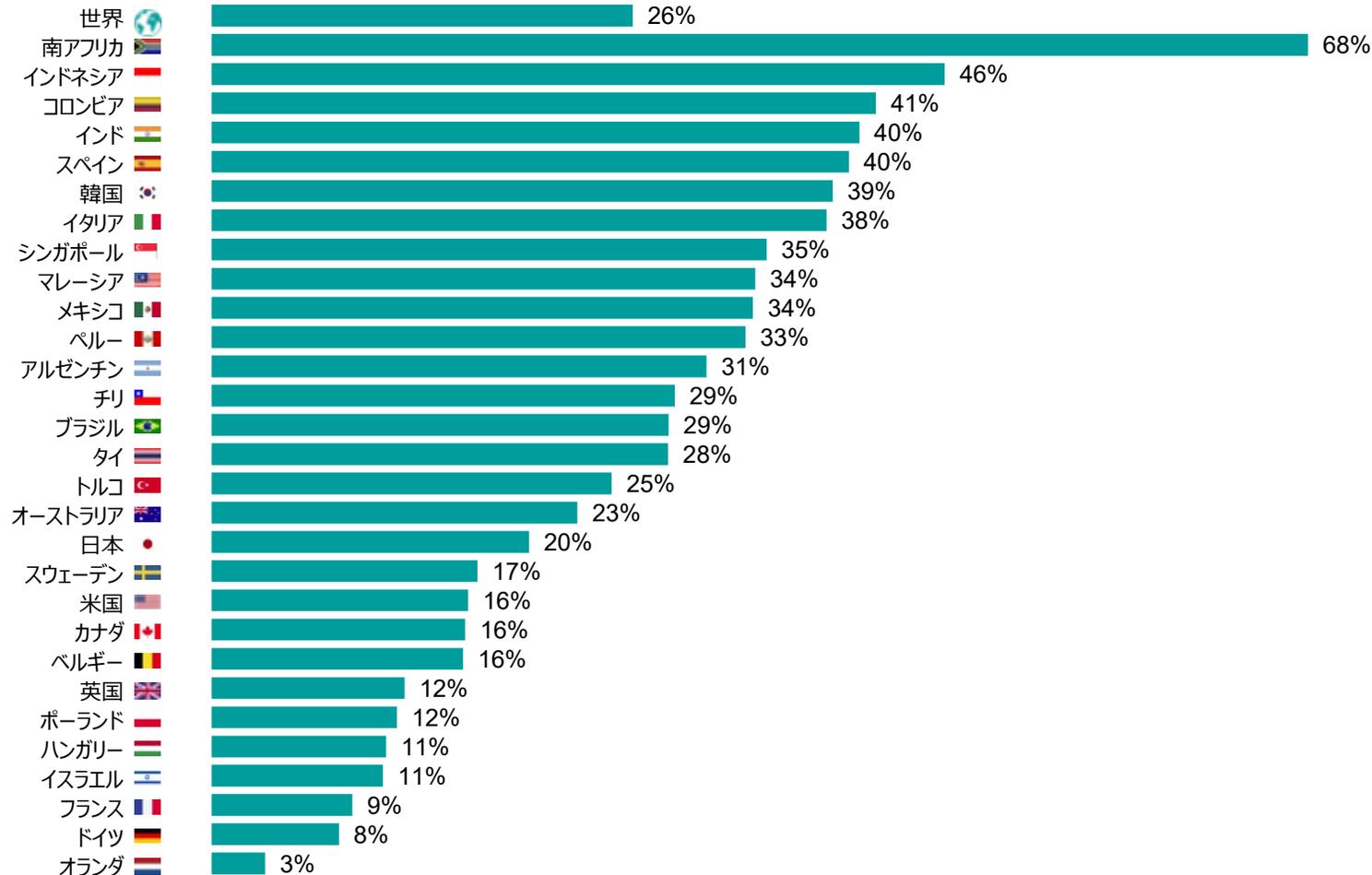
貧困と社会的不平等は18項目の懸念のうち3番目となり、30%が自国の問題と回答しています。これは先月より1ポイント減少しています。

ブラジル(41%)、日本(37%)、オランダ(40%)はいずれも不平等を最大の懸念事項としています。オランダは今月特に懸念が強くなっており、7ポイント増えて調査対象国中3位になりました。

先月1位だったインドネシア(現在32%)は、大きく12ポイント減って順位を下げました。

トルコ(28%)は先月、最も懸念を抱いている国のトップ10に入っていました。今月は10ポイント減ってトップ10外となっています。

# 4 | 失業率



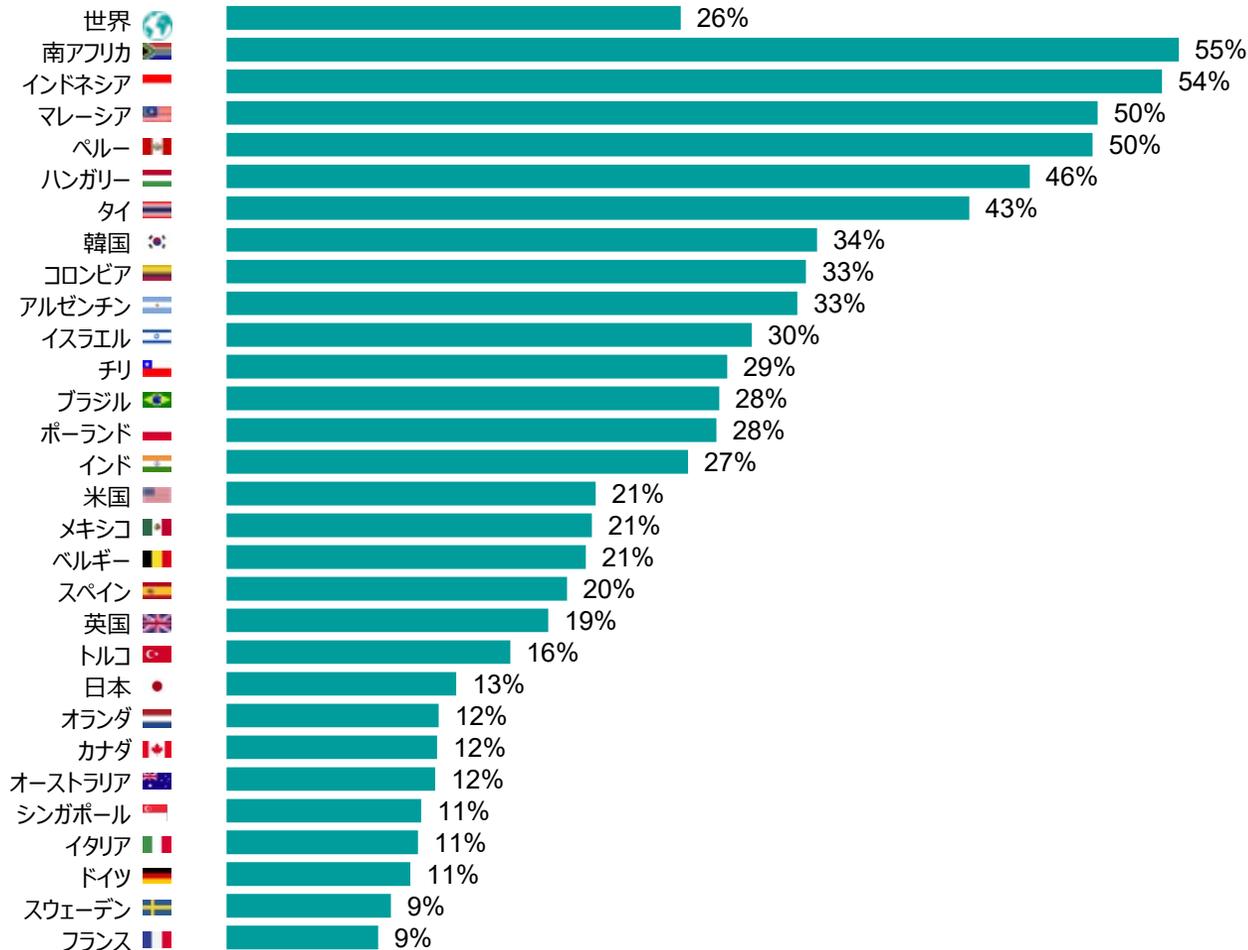
失業率は、「世界が懸念していること」調査で依然として4番目に大きな関心事であり、26%が自国の問題として挙げています。6月からは1ポイント減少しました。

南アフリカは2021年4月以来、最も懸念が強い国となっており、およそ10人に7人(68%)が懸念があると回答しています。同国で最も高い水準を記録し、この調査でも最も高いスコアだった2023年6月からは、2ポイント減少しています。

インドネシアでは半数近く(46%)が最重要課題と回答し、2位になりました。これは先月より7ポイント増えた結果です。

コロンビア(41%)、スペイン(40%)、韓国(39%)では、いずれも6月の水準より下がったものの、依然として最大の懸念事項となっています。

# 5 | 金融・政治腐敗



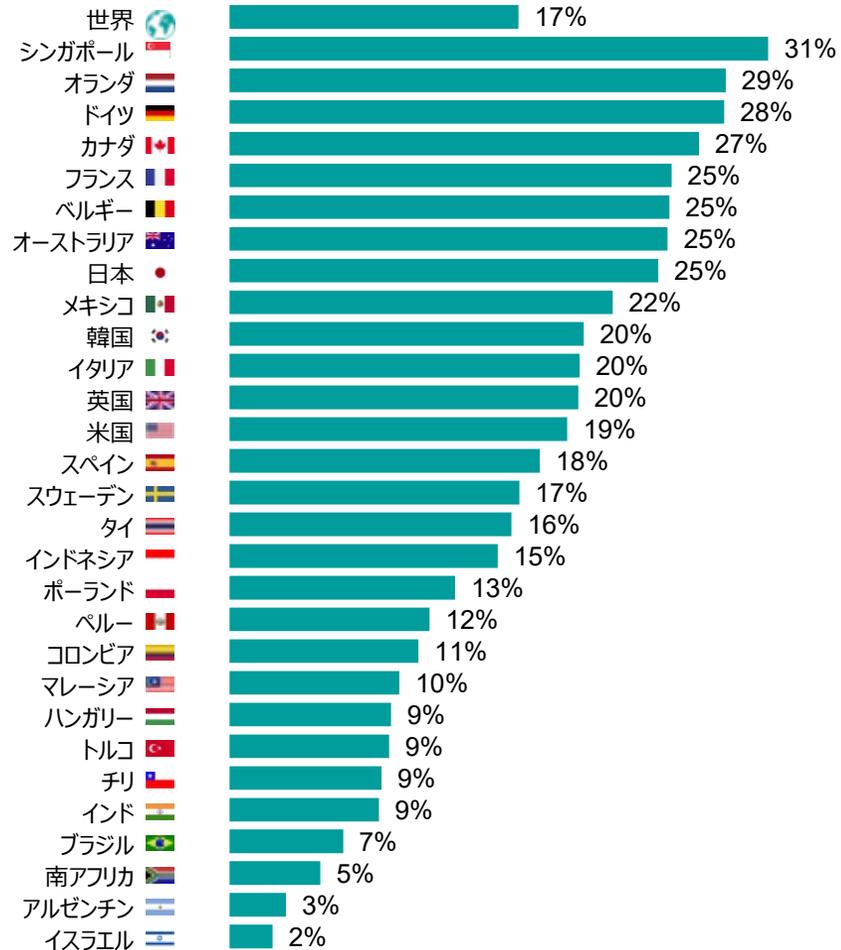
世界の4人に1人(26%)が、自国の最重要課題の1つとして金融・政治腐敗を挙げています。今月は1ポイント増えました。

南アフリカを除き、今月の上位4カ国はいずれも先月の水準を上回っています。インドネシア(54%)とマレーシア(50%)はいずれも4ポイント増、ペルーは5ポイント増で半数(50%)に達し、ハンガリー(46%)は6ポイント増となっています。

南アフリカ(55%)の関心度は3ポイント下がりましたが、今月もトップとなっています。この結果、金融・政治腐敗と失業率の両方でトップとなっています。

目立つ点として、今月はシンガポール(11%)でも動きがありました。最下位だった先月から6ポイント増え、順位を上げています。

# 7 | 気候変動



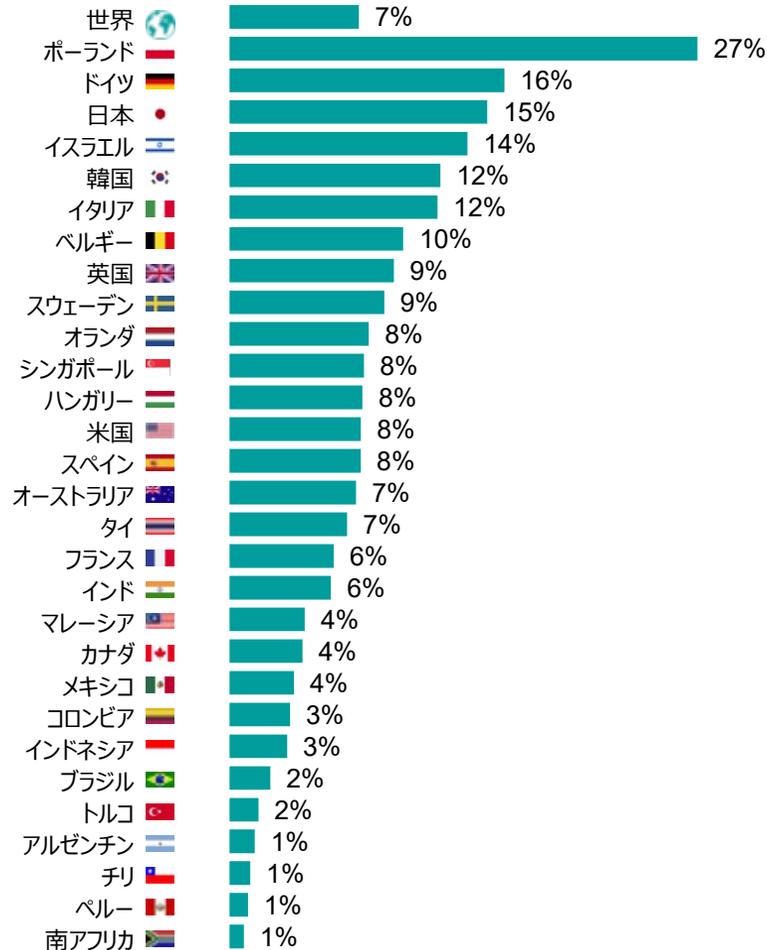
気候変動は、「世界が懸念すること」調査における18の世界的懸念事項のうち、医療と税金に挟まれた7位にランクされています。今月はスコアの変動がありません。

シンガポールは依然として気候変動に最も関心のある国で、31%が自国の問題として選んでいます。先月に比べて1ポイント増え、インフレ、失業率に次ぎシンガポールで3番目に大きな関心事となっています。

イタリアは先月4位にランクされていましたが、今月は8ポイント減の20%となり、トップ10外になりました。

今月はカナダがトップ5に入り、4分の1強(27%)が懸念を抱いています。同国では税金と並んで4番目に高い関心事となっています。

# 14 | 国家間の軍事衝突



国家間の軍事衝突は、過激派やテロリズムの台頭に次いで世界的な懸念事項の14位にランクされています。これは先月より2つ低い順位です。

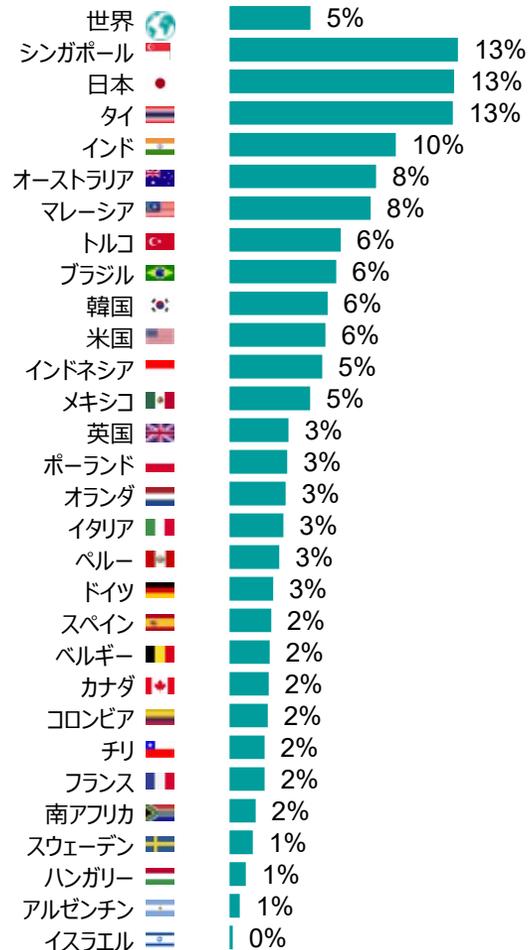
29カ国の人々のうち僅か 1 割弱(7%)が、自国の問題として軍事衝突を挙げており、先月から1ポイント減少しています。

ポーランドは依然として最も懸念している国で、4分の1以上(27%)が懸念があると回答しています。これは先月より2ポイント減っています。

イスラエル(14%)ではさらに減っており、3ポイント減となっています。

ドイツ(16%)は依然として2番目に懸念している国です。とはいえ、6月からは5ポイント減少しています。韓国(12%)も8ポイント減となっています。

# 17 | コロナウイルス (COVID-19)



コロナウイルスは18ある懸念事項のうち17番目に位置し(ソーシャルプログラムの維持とクレジットへのアクセスの間)、今月は1ポイント減で5%となっています。これは 2020年4月に記録を開始して以来最低の水準です。昨年同時期のパンデミックのスコアは、現在の2倍の14%でした。

ちょうど2年前(2021年7月)、この問題は全体の36%(今月とは31ポイントの差)を占め、10カ国が唯一にして最大の懸念事項として挙げるほど最も関心を集めていました。

インドネシア(5%)とタイ(13%)はいずれも先月は最も懸念していた国でした。今月、タイは5ポイント減の3位、インドネシアは13ポイント減の11位となっています。

# 經濟的焦點

# 自国の経済状況

イプソスの「世界が懸念していること」調査と並行して毎月実施されている「世界消費者信頼感調査」は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査するものです。

以下のセクションでは、そのデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳しくは、イプソスの世界消費者信頼感指数の総合ポータルをご覧ください。

<https://www.ipsos.com/en/ipsos-global-consumer-confidence-index>

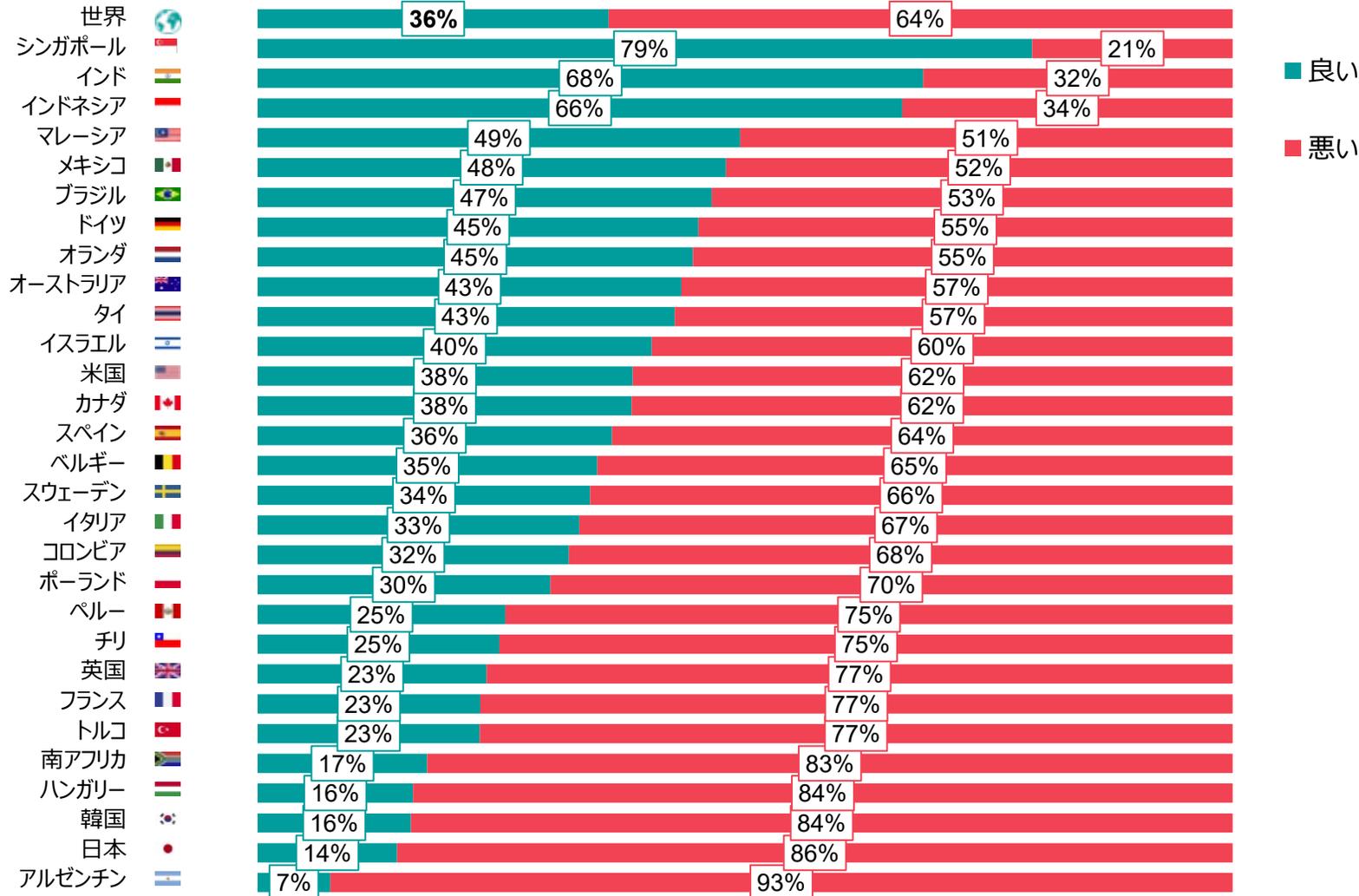
詳細は、[Nik.Samoylov@Ipsos.com](mailto:Nik.Samoylov@Ipsos.com) までお問い合わせください。



# 現在の経済状況

イプソス世界消費者信頼感調査における経済に対する意識の詳細やデータについては、[イプソス世界消費者信頼感指数ポータル](#)を参照のこと

## Q あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？



29カ国全体では、自国の現在の経済状況を「良い」と答えた人は先月と変わらず36%でした。

自国の経済状況をポジティブに捉えている国のトップ3は、シンガポール(79%)、インド(68%)、インドネシア(66%)で、いずれもアジア太平洋諸国です。

しかし、日本(14%)と韓国(16%)はランキングの下から3つのうち2つを占めており、経済に対するポジティブな意識は地域全体に均等に広がっているわけではありません。

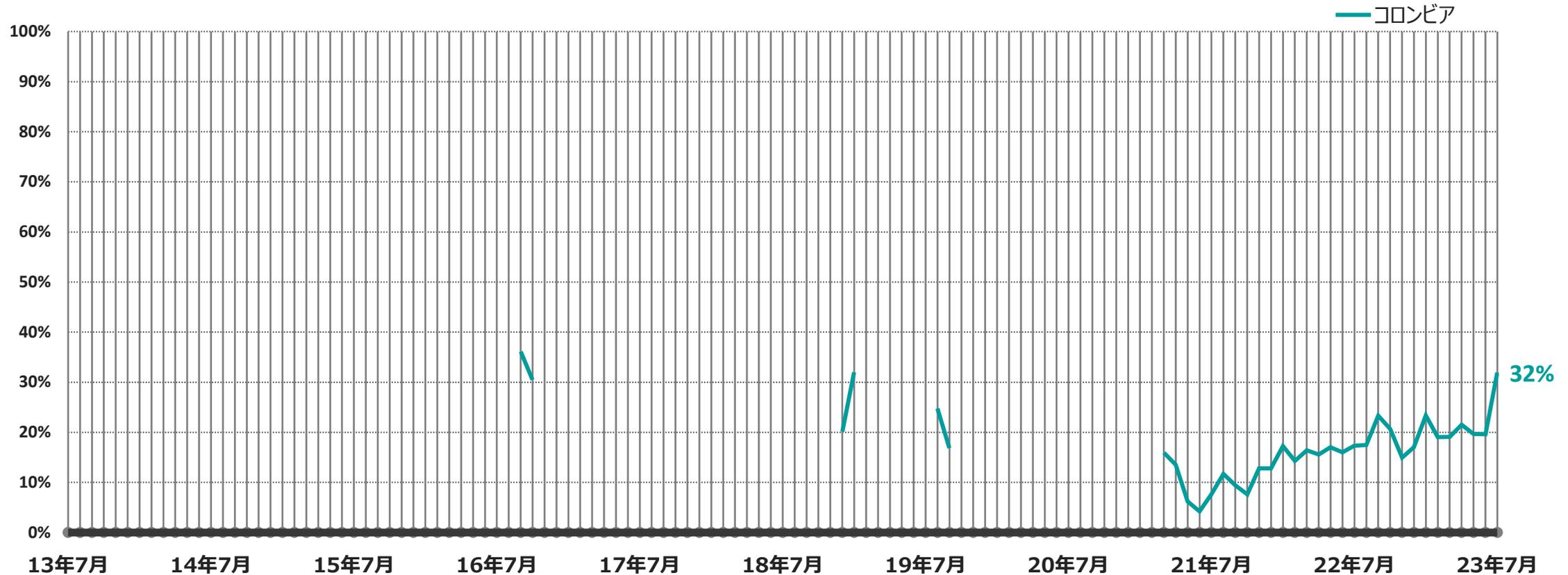
「(経済が)良い」が先月から最も増加したのはコロンビア(+12ポイント)で、アメリカ(+9ポイント)がそれに続いています。「良い」が2ポイント増加したスペインは、過去最高のポジティブな水準(36%)を記録しています。

一方、トルコ(-9ポイント)とオランダ(-7ポイント)は、先月から大きく減少しています。

# 現在の経済状況：コロンビア

コロンビアの「(経済が)良い」は、先月から12ポイント上昇した。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
（「非常に良い」「ある程度良い」の割合）



ベース：コロンビアの16～74歳の代表サンプル。約1,000人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23 © Ipsos | What Worries the World

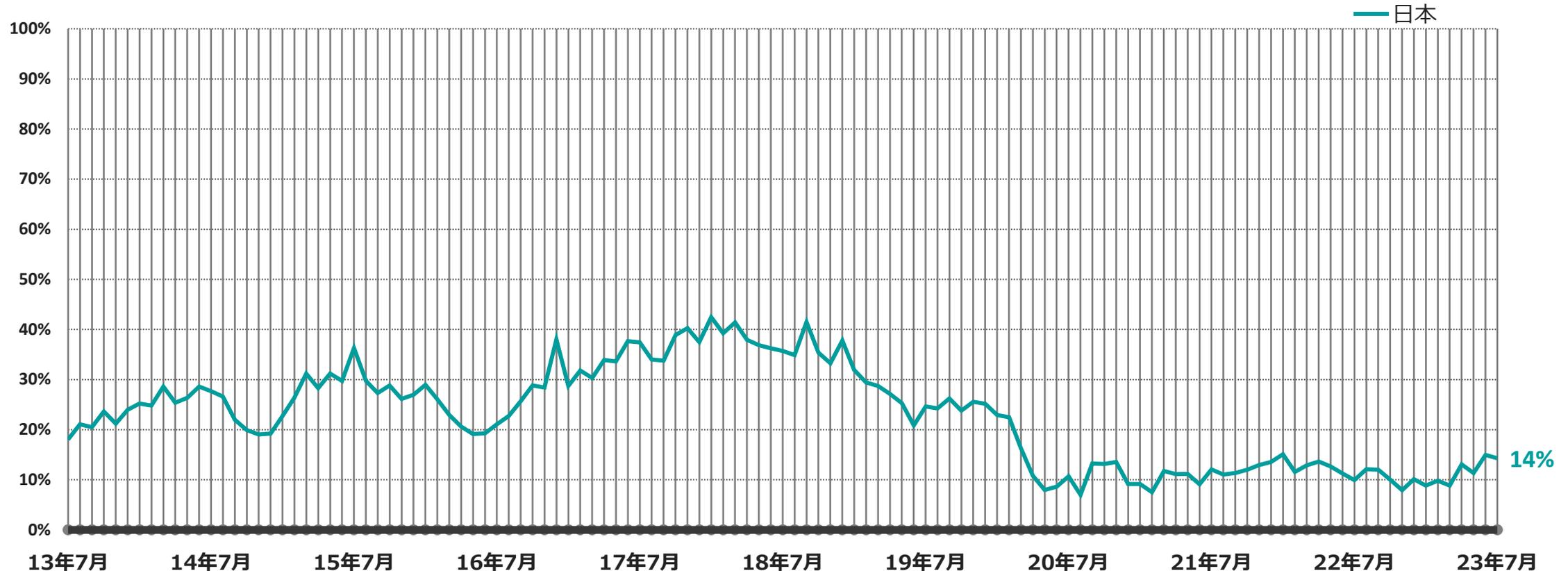
フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 現在の経済状況：日本

日本の「(経済が)良い」は、  
2020年2月(22%)以降20%  
を下回っている。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：日本の16～74歳の代表サンプル。約1,000人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

24 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 現在の経済状況：オランダ

オランダの「(経済が)良い」は、先月から7ポイント低下した。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：オランダの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

25 © Ipsos | What Worries the World

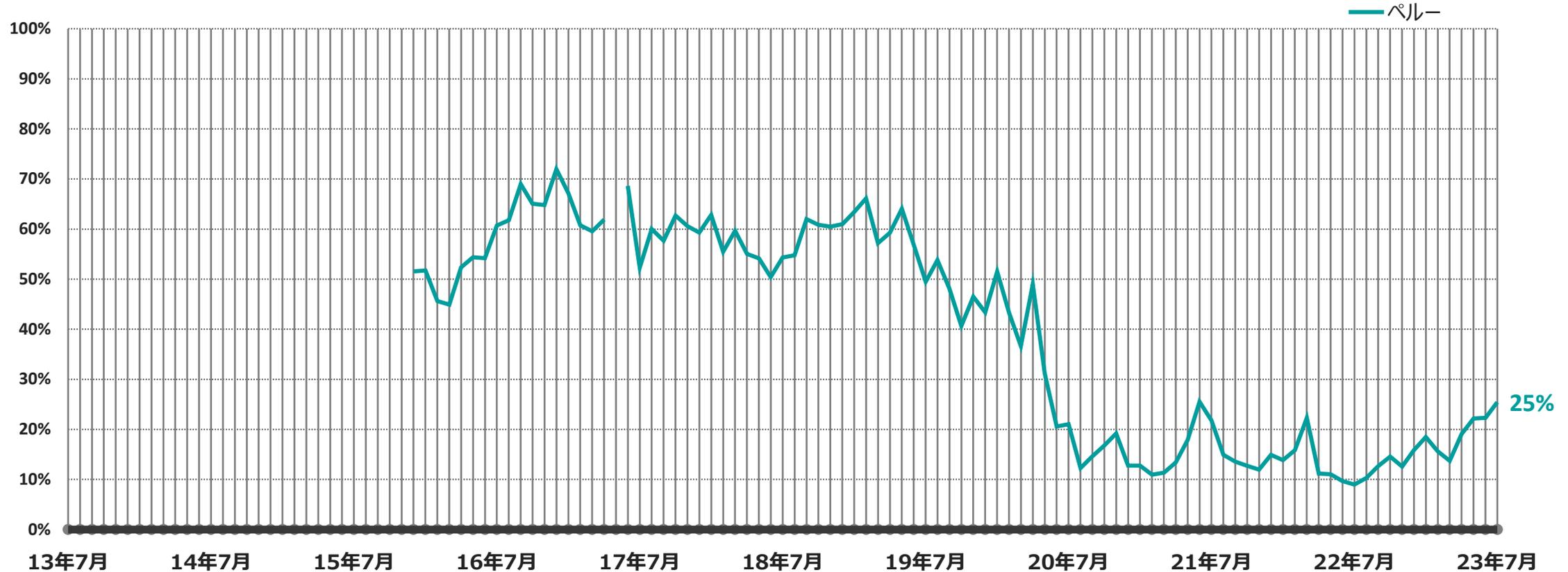
フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 現在の経済状況：ペルー

ペルーの「(経済が)良い」は、2023年7月に過去2年間で最高を記録した(2021年7月は26%)。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：ペルーの16～74歳の代表サンプル。約500人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

26 © Ipsos | What Worries the World

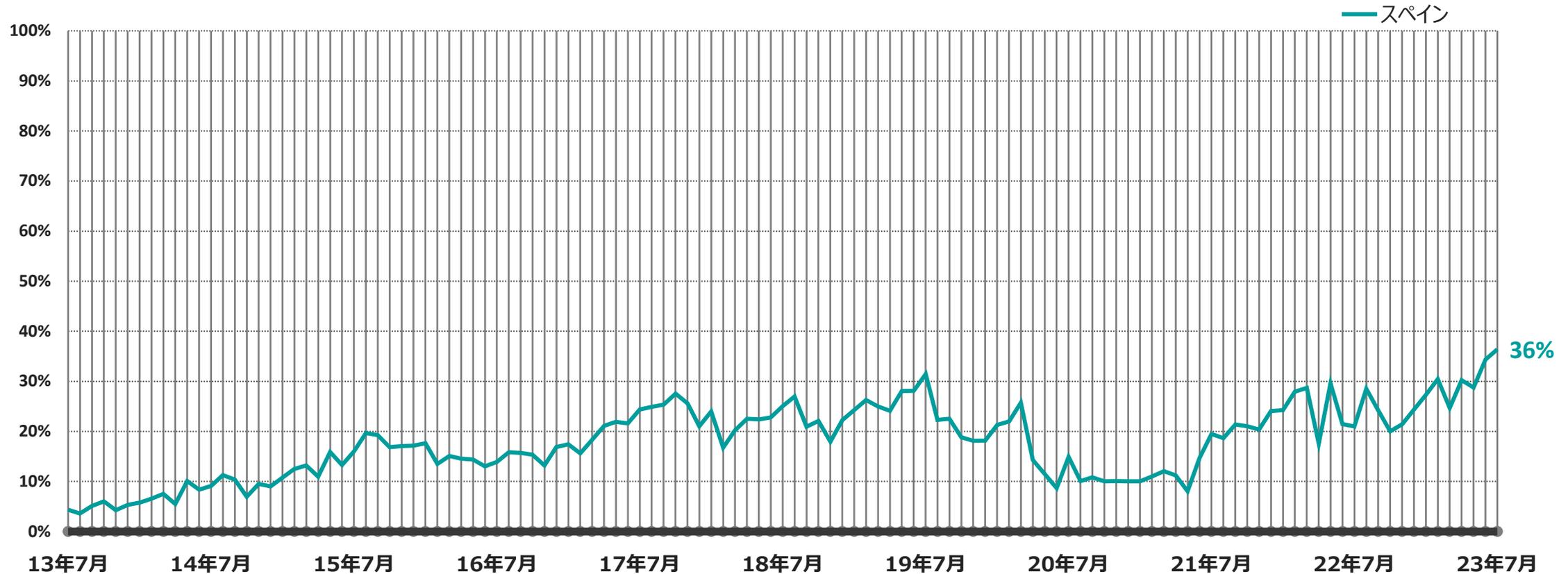
フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 現在の経済状況：スペイン

スペインは今月、過去最高の「(経済が)良い」を記録した。スペインのトップ5スコアのうち4つが2023年に記録されている。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：スペインの16～74歳の代表サンプル。約1,000人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

27 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日

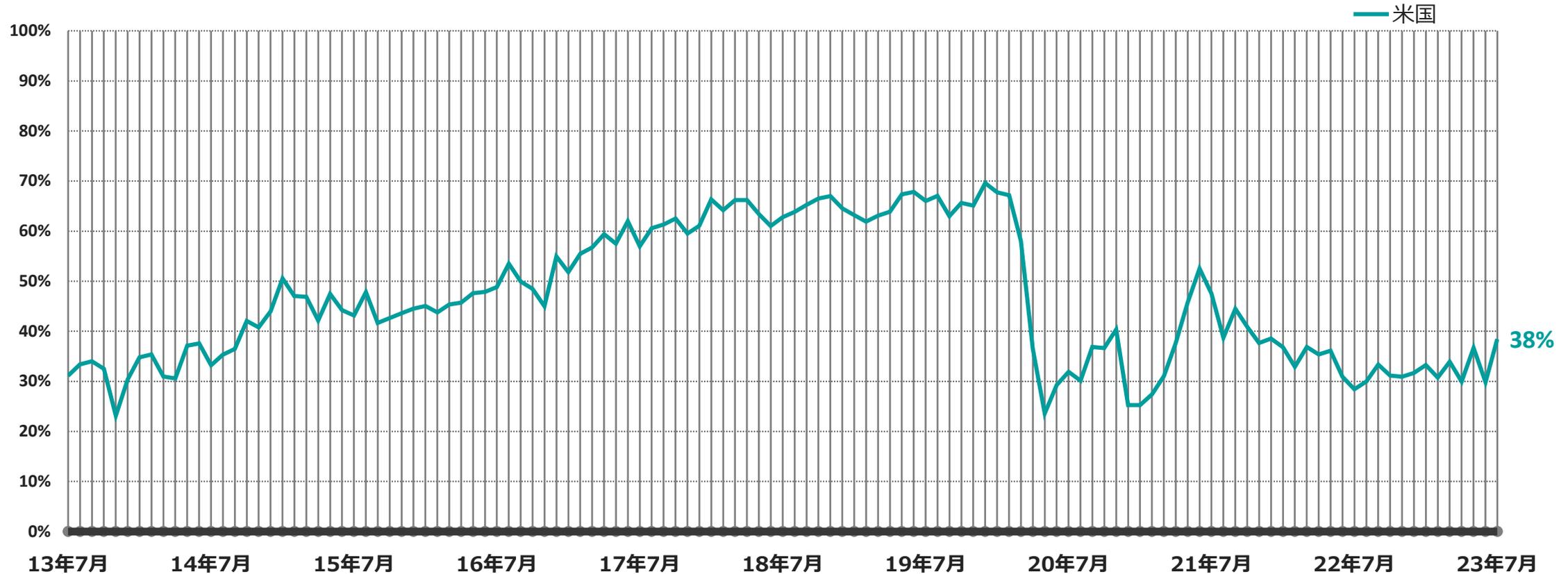




# 現在の経済状況：米国

米国の「(経済が)良い」は、先月から9ポイント上昇した。

**Q** あなたの国の現在の経済状況をどのように説明しますか？  
(「非常に良い」「ある程度良い」の割合)



ベース：米国の16～74歳の代表サンプル。約1,000人。2013～2023年調査。

出展：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアはグローバル各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29 © Ipsos | What Worries the World

フィルター：国：世界 | 現在のWave 7月23日



# 調査方法

この29カ国のグローバルアドバイザー調査は、2023年6月23日から2023年7月7日にかけて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の、合計20,570人を対象に、イプソスのオンラインパネルシステムで実施された。

「世界各国平均」は、調査を実施したすべての国の平均値である。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、イスラエル、日本、メキシコ、スペイン、スウェーデン、米国の各1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インド、インドネシア、マレーシア、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各500人以上からなる。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、その国の75歳未満の一般人口を代表しているとみなすことができる。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると思われる。

属性のバランスが取られ、サンプル構成が最新の国勢調査データを反映した成人人口の構成比になるよう、ウェイト付けが行われている。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、1,000人の世論調査の精度を±3.5%ポイント、500人の世論調査の場合は±5.0%ポイントの信頼区間を用いて計算されている。イプソスが使用する信頼区間に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際より+/-1多または少なく見える場合は、四捨五入、複数回答、「わからない」または未回答の除外による可能性がある。

本調査結果の公表は現地の規則に従う。